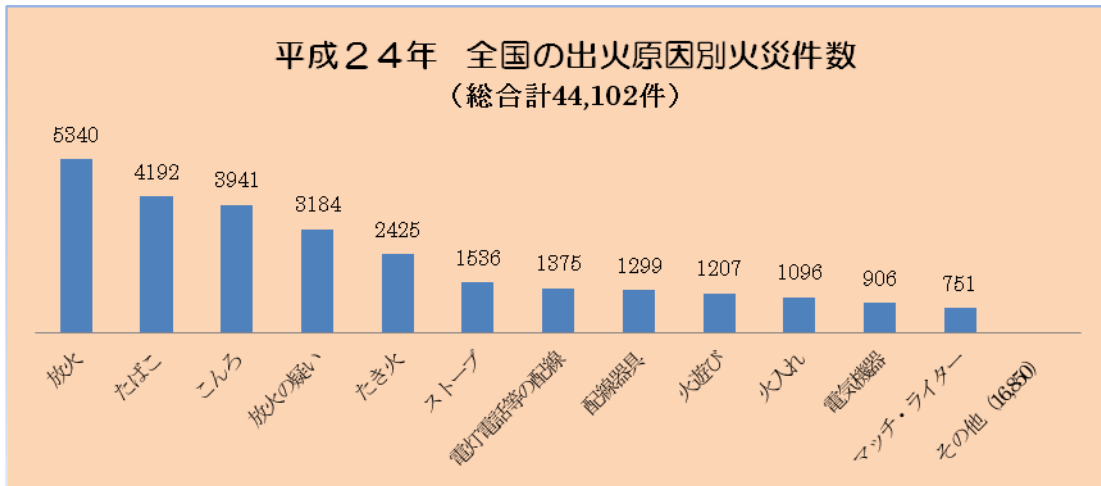


放火火災を防ぐために…

近年の出火原因の1位は「放火」で、「放火の疑い」と併せると出火件数の約2割を占めています。今後も社会情勢など様々な要因により増加する傾向にあります。

放火火災を防ぐためにも、自主防災組織や自治会や町内会などによって、「放火されない」「放火させない」環境づくりに取り組みましょう。



放火されやすいところは？

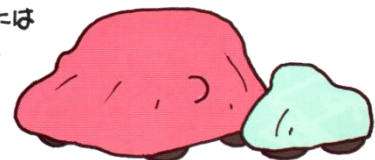
- 暗いところや立て看板など、とっさに身を隠すものがあるところ
- 路地の入口付近や商店街の裏通り
- 住宅の軒下、離れや倉庫の裏付近
- 物置や空き家など
- アパートやマンションなどの階段付近
- ゴミステーションや自動販売機など



放火されないために

- ◎ 車やバイクなどのカバーは防災加工のものを使用する。
また、車内には荷物を置いたままにしない。

車やバイクには
防災製品の
ボディカバー
を使う



◎ 空き家や物置、車庫などはカギをかけ、破損している箇所は修理する。



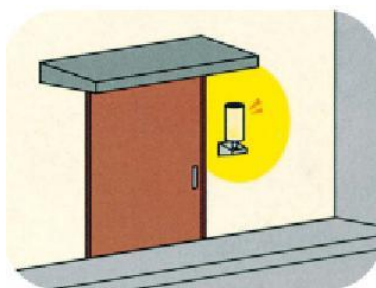
物置・車庫には鍵を

◎ 郵便受けに郵便物や新聞紙などをためない。
また、燃えるゴミは収集日の朝に出す。



ゴミは収集日に

◎ 建物の周囲、路地の入口付近、商店街の裏通り、
駐車場、アパートやマンションの階段付近などは、
街灯を付けたり、センサーライトを活用するなど照
明を点灯して明るくする。



◎ 建物などの周囲には、新聞やダンボールなどの
燃えやすいものを置かない。



ご近所と一緒に放火されない環境づくりをしましょう！

